

## 女性の視点からエネルギーを考える ～エネ女の集い

2012年1月31日  
 幸せ経済社会研究所

枝廣淳子

1

## エネルギーの議論

- 何で発電するのか?  
→ **質**の問題
- どのくらいの電力が必要なのか?  
→ **量**の問題

2

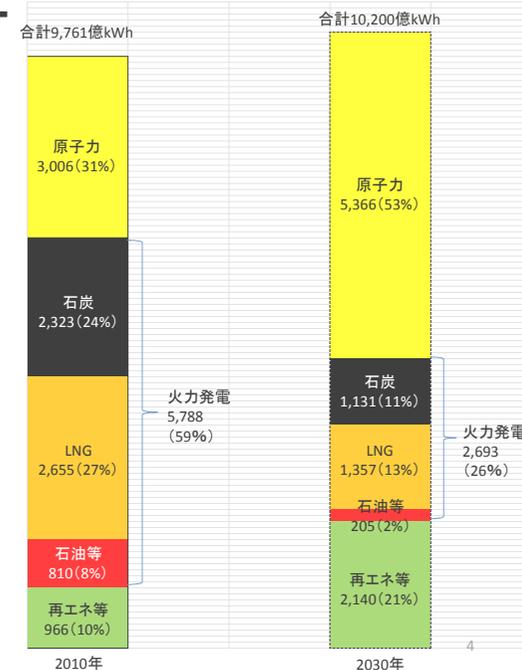
## エネルギー基本計画の作り方

- ① **GDP成長率**を決める
- ② そのときの**需要(必要な量)**を計算する
- ③ その需要を満たすための**供給の内訳(電力なら電源構成)**を決める

3

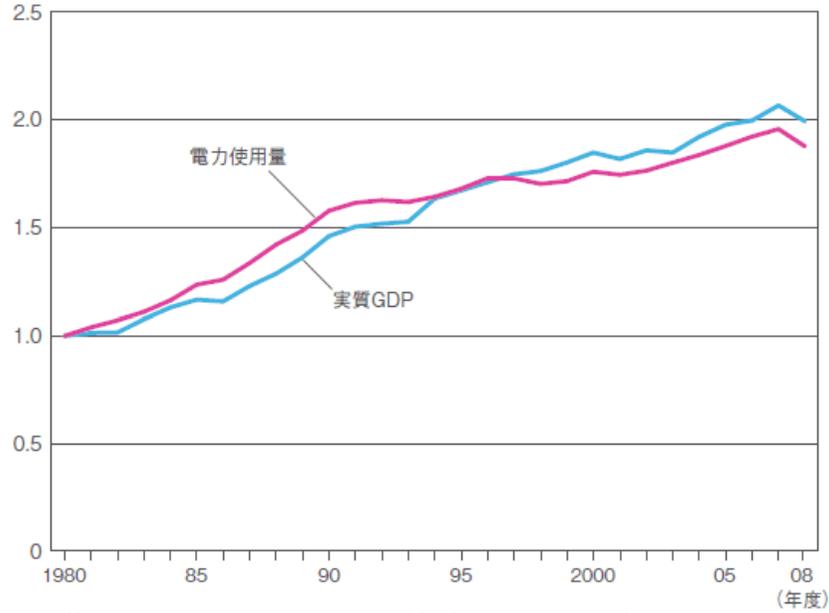
## 現在のエネルギー基本計画

- ① GDP成長率  
2020年まで2%  
2030年まで1.2%
- ② 2030年には  
10,200億kWh必要
- ③



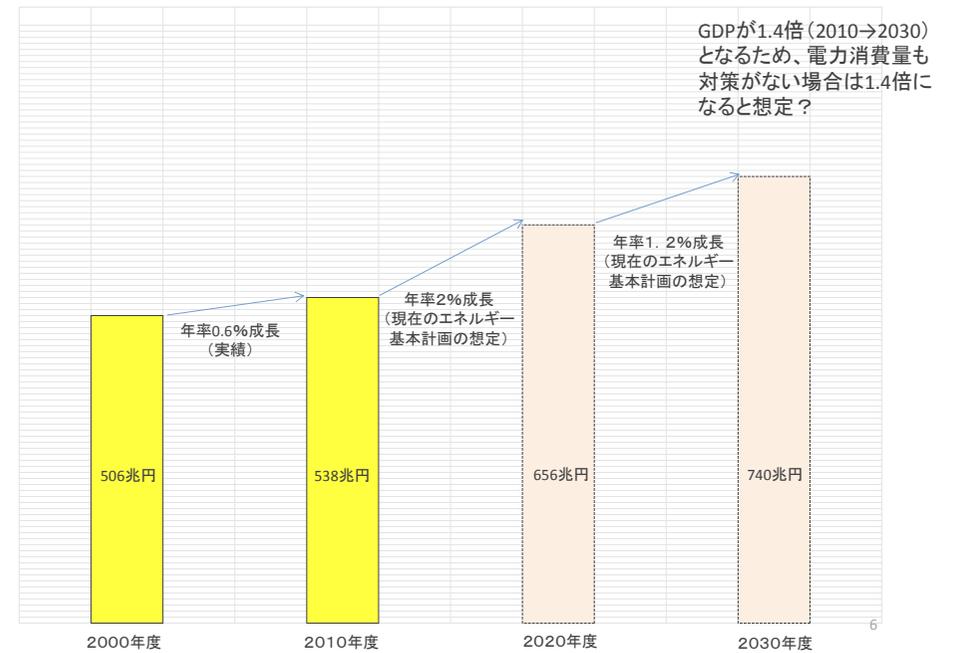
4

【図表1】実質GDPと電力使用量の推移(1980年度を1とする指数)



資料：資源エネルギー庁「エネルギーに関する年次報告」、内閣府「国民経済計算」  
注：電力使用量とは、「電灯」と「電力」の合計

## 経済成長率(実質)をどう考えるか?



## ちなみに、一人あたりGDPは?

現在のエネルギー基本計画で想定している一人あたりGDP

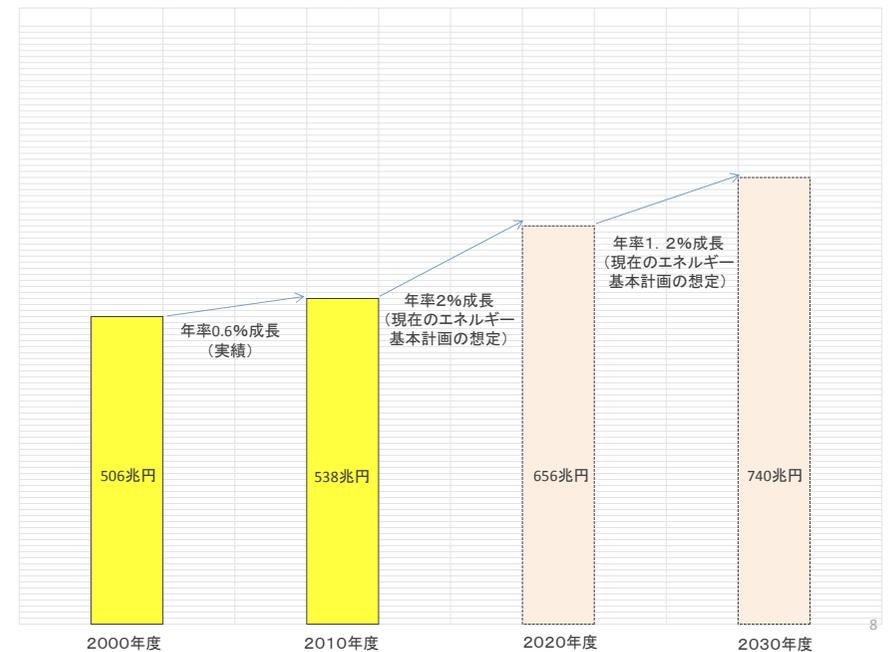
	2010	2020	2030
GDP	538兆円	656兆円	740兆円
人口*	1億2,810万人	1億2,410万人	1億1,660万人
一人あたりGDP	約420万円	約529万円	約635万円

2010年度からGDP成長率がゼロだった場合

	2010	2020	2030
GDP	538兆円	538兆円	538兆円
人口*	1億2,810万人	1億2,410万人	1億1,660万人
一人あたりGDP	約420万円	約434万円	約461万円

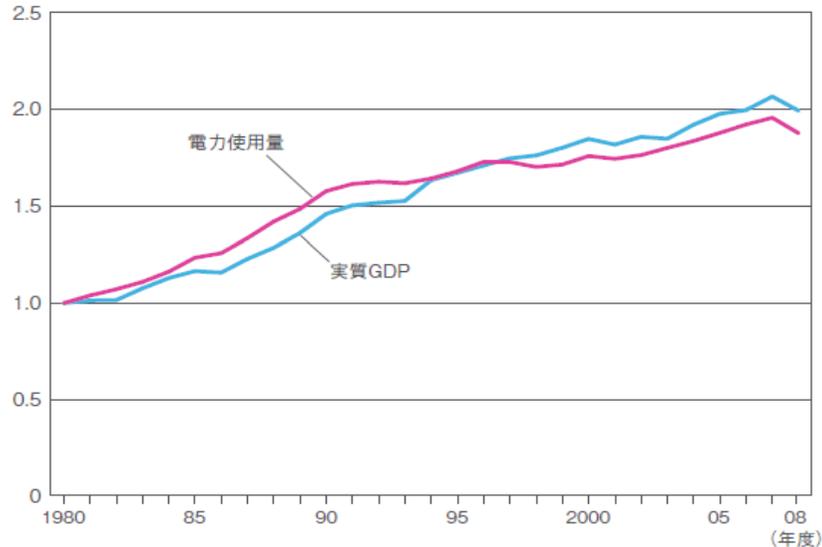
\*社会保障・人口問題研究所の中間推計(平成24年1月30日)

## ① 経済成長率をどう考えますか?



## ② 必要な電力量(需要)は想定できる

【図表1】実質GDPと電力使用量の推移(1980年度を1とする指数)



資料：資源エネルギー庁「エネルギーに関する年次報告」、内閣府「国民経済計算」  
注：電力使用量とは、「電灯」と「電力」の合計

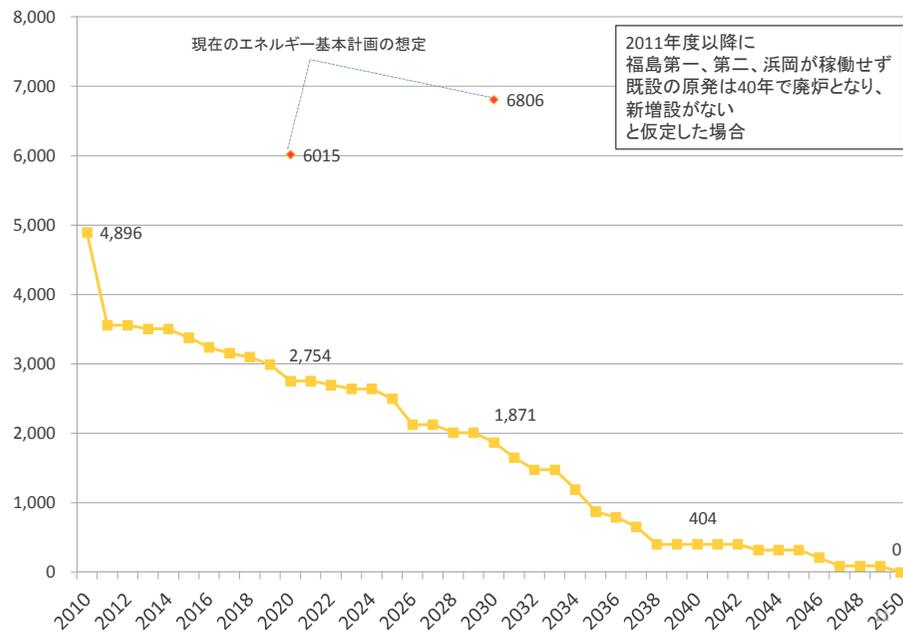
9

## ③ 供給の内訳を考える

- (1) 原子力発電の割合をどうするか?
- (2) どのような内訳にするか?

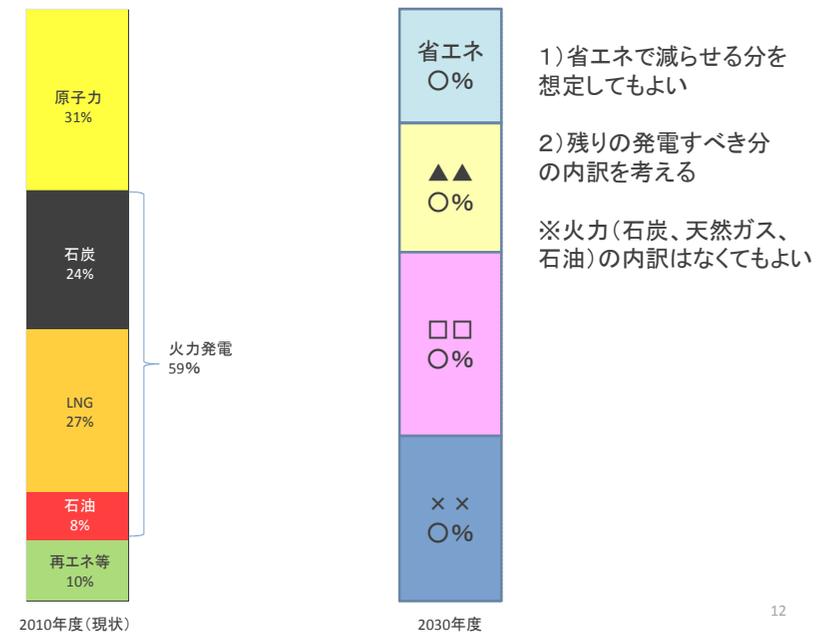
10

## 原子力発電の今後をどう考えますか?



現在のエネルギー基本計画の想定  
2011年度以降に福島第一、第二、浜岡が稼働せず既設の原発は40年で廃炉となり、新増設がないと仮定した場合

## 電源構成(内訳)はどう考えますか?



1) 省エネで減らせる分を想定してもよい

2) 残りの発電すべき分の内訳を考える

※火力(石炭、天然ガス、石油)の内訳はなくてもよい

12

# 自分で記入→グループディスカッション

## 出してほしいこと

<黄色> 何を重視してエネルギーを考えたいか(観点)  
(政策を作る人に考えてほしいか→伝えます)

<水色> 考えるうえで、何を知りたいか(情報)  
(データや事実関係など→まとめてアップします)

## 出さなくて良いこと

## 結論

# 進め方

1) 2色のポストイットに書きながら(1枚に1つずつ)、  
自分でチャートに記入する。(20分)

2) ポストイットを模造紙に貼りながら  
(黄色と水色を分けて)、グループでお互いに共有する。  
(30分)

- ・他の参加者の考えに耳を傾ける。
- ・自分の意見を修正してかまわない。
- ・ディスカッションしながら、さらに黄色と水色の  
ポストイットを追加していく

3) 全体で共有する。(20分)

# 最後のテーマ

- ・ よりよいエネルギー政策の作り方についての  
意見、要望、アイデアなど



Webやfacebookで情報発信中  
～ぜひご覧ください



## ●「幸せ経済社会研究所」事務局●

〒156-0055  
 東京都世田谷区船橋1-11-12  
 産興ビル3F(有限会社イズ内)  
 TEL:03-5426-1128  
 FAX:03-6413-3762  
<http://www.ishes.org/>  
 E-mail: [Inquiry@ishes.org](mailto:Inquiry@ishes.org)